



北陸総合通信局
マスコット
「ピビットくん」

北陸総合通信局 職場紹介資料

-先輩職員からのメッセージ-



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications



情報通信部 情報通信振興課

地域振興担当

令和6年4月採用

理系出身 工学部（建築）

令和6年 入局 情報通信振興課



【令和6年～ 企画調整担当】

- ・地域のデジタル化に向けた自治体と通信事業者とのマッチングを図る協議会の運営

- ・テレワークの推進

【令和7年～ 地域振興担当】

- ・情報化による地域振興の各種補助事業・支援制度の周知・対応

Point
01

仕事のやりがい

情報通信を活用して地域課題解決に取り組む団体等への補助金交付業務に携わっています。自治体が地域活性化や社会課題の解決に向けて前進している様子を目の当たりにし、社会に貢献している実感が得られます。また、自動運転バスの試乗といった機会もあり、**情報通信分野の最先端技術に触れることができます。**

Point
02

ワークライフバランス

休暇が取得しやすく、定時退庁も推奨されているため、プライベートの時間も十分に確保できます。



無線通信部 無線通信課

航空海上担当

令和6年4月採用

理系出身 工学部 (機械システム工学科)

令和6年 入局 無線通信課 (航空海上関係)



- ・無線局の許認可業務 (船舶、航空機等の申請処理)
- ・無線局の検査
- ・無線従事者関係事務

Point
01

仕事のやりがい

携帯電話が届かない海上で、船の安全や通信を支える無線機器 (送受信機、レーダー、非常時に位置情報を伝えるEPIRBなど) を使用するための免許申請業務を行っています。また、実際に免許人の船舶まで行って、使用している無線設備の電力や周波数が規定の範囲内であるかを検査することもあります。船舶での正しい無線の使用を促し、また安全で快適な航海をするサポートをすることができていると感じます。

無線について、入庁したての頃は全然知識がなかったのですが、上司の方が親身になって教えてくださり理解を深めることができました。



無線通信部 無線通信課

官公庁担当

令和6年4月採用

理系出身 生命科学部

令和6年 入局 無線通信課（陸上関係）

Point
01

- ・無線局の許認可（防災行政、官公庁）
- ・電波伝搬障害防止制度関係（障害判定、防止区域の指定）

Point
01

仕事のやりがい

無線局の許認可業務では、**高速道路のETCにも免許が必要であることに驚きました**。無線局の定期検査というものがあり、実際に現地へ検査に行きます。省庁によって無線局の用途が異なるので、毎回学びがあって面白いです。

全国の他の局の同期とも、研修等で仲良くなる機会があります。同じ部署の同期もいるため、他局の同期に仕事でわからないことなどを相談することもあります。

Point
02

ワークライフバランス

基本的にずっと定時で退庁しています。休みも取りやすいので、趣味を思いっきり楽しむことができます。



無線通信部 無線通信課

一般企業担当

令和6年4月採用

理系出身 工学部

令和6年 入局 無線通信課



- ・無線局の許認可業務（アマチュア局の申請処理）

Point
01

大変だった仕事

アマチュア無線局の許認可業務において、特に審査に注意を要する記念局の申請及びハイパワーに伴う臨局検査が必要な変更申請の審査には苦労しました。臨局検査では、**実際に検査官として免許人宅へ出向き自ら測定**を行うので、前日には持ち物及び測定器の接続操作の確認を行うなどして、検査がスムーズに進むよう努めました。

Point
02

職場の雰囲気

基本的に落ち着いている印象があります。特に課内では電話対応が頻繁にあるので、仕事の話をすることが多いイメージです。また、気になったことは先輩や上司が親切に教えてくださるので、日々勉強しながら業務を遂行しています。



情報流通行政局 (本省)

地域通信振興課

令和4年4月採用

理系出身 理学部

令和4年 入局 情報通信振興室

- ・ ICTを活用した地域振興に資する各種支援制度の周知及び相談対応
- ・ セミナーや協議会の開催及び運営

令和6年 (本省) 情報流通行政局 地域通信振興課



- ・ 新規施策の予算要求
- ・ 「地域社会DX推進パッケージ事業」の予算執行

Point
01

仕事のやりがい

現在の部署では、ICTを活用した地域振興に資する新規施策の立ち上げ及び執行業務を担当しています。**全国の地域が抱える課題や要望を把握し、施策に反映させ、実際に活用いただくという流れを一気通貫で経験することができ、非常にやりがいがあります。**

Point
02

職場の雰囲気

若手職員が多く、気軽に相談し合える働きやすい環境です。また、出向者も複数名おり、幅広い人脈が得られます。



大臣官房 会計課 (本省)

監査指導係

令和3年10月採用

理系出身 環境学部

令和3年 入局 情報通信振興室

- ・ 5G税制の申請処理、公衆無線LAN整備の補助金業務

令和5年 無線通信課（陸上関係）

- ・ 無線局の許認可（防災関係、官公庁系）

令和6年 （本省）大臣官房 会計課



- ・ 省内会計事務の監査、指導

Point
01

本省派遣での業務

総務省の実施している事業について、資金の流れや活動実績を点検する「行政事業レビュー」を担当しています。省内全事業が対象であり、所掌範囲の広い総務省全体の動きを知ることができます。外部有識者を交えて行う点検の場は、YouTubeで公開配信されるため注目度が高く緊張感もありますが、今後の政策立案に関与できる魅力ある仕事です。

Point
02

職場の雰囲気

経験豊富で世話好きの先輩が多く相談しやすいので、楽しく仕事ができます！



総合通信基盤局

基幹・衛星移動通信課（本省）

重要無線室

令和4年4月採用

文系出身 法学

令和4年 入局 監視調査課

- ・電波利用ルールの周知啓発業務
- ・電波監視業務

令和6年 （本省）総合通信基盤局 重要無線室



- ・防衛省が使用する周波数の許認可業務
- ・その他、官公庁が申請する無線局の許認可業務

Point
01

本省派遣での業務

現在所属している部署では、主に自衛隊が使用する周波数に係る業務を行っています。近年はドローンや衛星をはじめ、**電波を使用する装備品が増加傾向にある**ことから、取り扱う案件数も多く、大変だと感じることがあります。一方で、**国防の一端を担う職務**であることから、日々やりがいを持って業務に取り組むことができます。

Point
02

職場の雰囲気

北陸局と同様に、本省においても、ワークライフバランスの充実を推進しています。私の所属する部署では、積極的な休暇の取得、週一回以上のテレワーク実施など、非常に働きやすい環境が整えられています。



情報流通行政局 (本省)

情報活用支援室

令和3年4月採用

文系出身 法学部

- 令和3年 入局 電気通信事業課
 - ・ 北陸情報通信協議会の事務局補助業務
 - ・ 電気通信事業者等の届出処理
- 令和5年 (本省) 総合通信基盤局 電波利用料企画室
 - ・ 電波利用料財源予算のとりまとめ、執行管理
- 令和7年 (本省) 情報流通行政局 情報活用支援室
 - ・ インターネット利用者のリテラシー向上に係る業務



Point
01

本省派遣での業務、職場環境

現在の部署では、「**DIGITAL POSITIVE ACTION**」 <https://www.soumu.go.jp/dpa/> というSNS等での偽・誤情報や誹謗中傷などの問題に対し、官民連携で様々な取組を行う意識啓発事業を担当しております。偽・誤情報をそうだと認識しないような利用者も多くいる中でどのように意識啓発を行うべきか非常に難しい課題ではありますが、このような**大きな社会問題に向き合い目標達成に向けて実行していく**ことは、とても貴重な経験だと感じております。

職場環境は、テレワークや休暇を前日に申告して取得することも多く、生活に合わせて柔軟に働くことができます。ぜひ説明会にお越しください！



無線通信部 電波利用企画課

企画推進担当

令和2年11月採用

理系出身 生命科学科

令和2年 入局 陸上課

- ・無線局の許認可業務（官公庁、防災関係、アマチュア無線等）

令和5年 （本省）総合通信基盤局 基幹・衛星移動通信課

- ・気象レーダーの制度整備（本省1年目）
- ・無線LANの制度整備（本省2年目）

令和7年 北陸局帰局 電波利用企画課



- ・無線通信部内のとりまとめ
- ・無線通信関係の相談対応

Point
01

北陸総合通信局を選んだ理由

公務員試験受験時はコロナ禍で、今後テレワーク等をはじめとする情報通信分野の環境整備が必要になると思い、志望しました。

また、採用3、4年目には本省勤務がありますがそれ以外は基本的に転勤がなく、人生設計のしやすさも魅力と思ったからです。

Point
02

現在の業務

相談対応については研究機関や企業へ直接訪問をして、研究内容や要望等をヒアリングします。北陸におけるニーズを掘り起こし、情報通信分野の発展につながるような取り組みをしています。



情報通信部 電気通信事業課

企画連携担当

令和3年4月採用

文系出身 教育学部

● 令和3年 入局 電波利用企画課

- ・無線局監理システムの保守管理

● 令和4年 監視調査課

- ・電波監視業務、電波監視機器の保守管理

● 令和5年 (本省) 情報流通行政局 地域放送推進室



- ・ケーブルテレビ事業に関する補助金の執行業務

● 令和7年 北陸局帰局 電気通信事業課

- ・北陸情報通信協議会の事務局補助業務

Point
01

仕事のやりがい

本省の2年間のうち、**能登半島地震復旧事業**に携われたことは、とても印象に残っています。放送・通信サービスが停止した地域での復旧事業に対して補助金を交付しました。混沌とした状況のなか、本省にいらながらも、**北陸総合通信局の職員、被災地の自治体や事業者と協力**し、早急な復旧が進められるよう尽力した経験はとても貴重なものでした。

北陸局に戻ってからは、情報通信について産官学が集まり情報交換を行う場として、講演会やセミナーを開催するなどさまざまな事業に携わり、北陸地域での情報通信の発展の一助を担っていることにやりがいを感じています。また、日々新しい情報が入ってくるので、学びの連続です。



情報通信部 放送課

有線放送担当

令和元年10月採用

理系出身 物理学

● 令和元年 入局 監視調査課 Point 01

- ・電波監視システム（DEURAS）や測定器の保守・整備

● 令和4年 （本省）総合通信基盤局 総務課

- ・電波監理審議会の運営事務

● 令和6年 北陸局帰局 放送課 Point 02

- ・テレビ/ラジオ放送関係の許認可・補助金業務（R6：テレビジョン放送担当）
- ・有線放送関係の許認可・補助金業務（R7：有線放送担当）

Point 01 大変だった仕事（東京オリ・パラ）

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、約1ヶ月間、現地の会場にて電波監視を行いました。朝早くから会場に入る日もあれば、終電近くに会場を出る日もあったため大変でしたが、世界各国の人が一斉に集まる世界的イベントにおいて電波監視を行えたのは、とても良い経験になりました。

Point 02 仕事のやりがい

令和6年能登半島地震で被災したケーブルテレビ等の復旧支援のため、現在も補助金の交付処理を行っています。補助金を用いてケーブルテレビが整備された仮設住宅もあり、自身も能登の復興に携わる1人であることを実感しています。完全復旧に向けて、引き続き支援を行っていききたいと思います。

組織情報

職員数

69名

平均年齢

47歳

20代 26%、30代 11%、40代 9%、50代 30%、60代 25%

事務官・技官比率

事務官 55% 技官 45%

※事務官と技官で業務内容は全く同じです！

男女比率



57名:12名



採用実績

2025年度 2名 (男 1 女 1)
2023年度 5名 (男 3 女 2)
2021年度 3名 (男 1 女 2)

2024年度 4名 (男 3 女 1)
2022年度 5名 (男 3 女 2)
2020年度 3名 (男 1 女 2)

よくある質問 FAQ

Q

勤務地はどこですか？

A

石川県金沢市です。北陸総合通信局は、北陸3県（富山・石川・福井）を管轄していますが、勤務場所は金沢市内（金沢広坂合同庁舎）であり、ほかに出張所や事務所等はありません。

Q

金沢市以外での勤務はありますか？

A

課長補佐級までは、ほとんどの職員が金沢市にある金沢広坂合同庁舎で勤務します。

ただし、採用後3年目に人材育成の一環として、2年間（現行）、総務省の本省内部部局（霞が関）で勤務をすることになっています。全ての職員が、本省での仕事を知る必要があり、人脈作りにも欠かせないものと考えているからです。皆さんの適性・希望等を考慮したうえで、再び本省で一定期間の勤務をすることもあります。希望しない場合は居住地移転を伴う人事異動を原則行っていません。

希望して本省内部部局勤務に変更する方、その上で、在外公館、自治体等で勤務している方や、課長昇任後に他の総合通信局で管理職として勤務している方もいます。特に変わった例としては、総合通信局職員のまま、南極地域観測隊員として南極で活躍している方もいます。

よくある質問 FAQ

Q 北陸総合通信局ではどのような人材を求めていますか？

A

採用にあたっては、試験区分にとらわれず、**人物本位**での採用を行っています。

国家公務員としての役割を十分認識し、また、誠実さと協調性をもって何事にも積極的に取り組み、自分の能力を最大限に活かそうと努力する人材を求めています。

ICT、IoTは、農林水産業、伝統産業、医療、介護、教育、雇用、行政など様々な分野で活用されています。放送、電気通信事業、無線通信関係だけでなく、様々な業界の方々、老若男女、多くの方の話をしっかり聞き、仕事に活かすことができる人材を求めています

Q

採用はどのように決定するのですか？

A

人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）合格した方を対象に採用面接を実施し、面接を通じて皆さんの公務に対する思いや長所、積極性などをお聞きし、これらを総合的に判断して決定します。

よくある質問 FAQ

Q

採用までの流れはどうなっていますか？

A

人事院から紹介されているとおりの一般的な採用の流れです。

例えば、国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）第一次試験後、人事院が主催する官庁合同業務説明会が開催されます。

当局の業務説明会では、業務内容や採用について直接説明を受けることができ、若手職員や女性職員との懇談の機会もありますので、ぜひ参加いただければ幸いです。

その後、官庁訪問（採用面接）を行い、国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）最終合格者発表後に、合格者の中から採用者を決定（内定）します。

Q

採用は技術系区分の方が有利ですか？

A

ICT、IoTに関する幅広い分野の業務を行っていることから、技術系の方がこれらの業務になじみやすいというイメージがあるかも知れませんが、有利不利はありません。ここ数年は「行政区分」の方も多く採用しています。

採用後、多種の研修や実際の業務を経験して、職員は試験区分にかかわらず様々な分野の業務で活躍しています。

業務を行う上では、管轄区域である北陸3県の地勢等に精通していただくことがとても大切なことです。

よくある質問
FAQ

採用後はいろいろな業務を経験できますか？

本人の希望や、適性などを考慮して、より多くの部署での業務経験を積んでいただくことを目的に、一定期間ごとに異動します。

北陸総合通信局では、若手職員は管理部門（総務・財務）よりもできる限り、直接、**情報通信(放送、電気通信、地域振興)、無線通信分野**に**関係する課・室に配属し、いち早く専門的知識を習得できるようにしています。**

女性にとって働きやすい環境ですか？

現在、女性職員は、無線局の許認可事務、ICT（情報通信技術）の利活用の推進、局全体の総合調整など、幅広い業務で活躍しています。

また、育児休業を経て復職し、復職後も育児短時間勤務や子の看護休暇などの子育て支援制度を活用したり、周囲の理解やフォローを得て、仕事と育児の両立を維持している職員もたくさんいます。

他の総合通信局では管理職となっている方もいます。

男性の産休・育児休暇を促進するとともに女性にとって働きやすい環境となるよう努めています。

※育児休業の取得実績【令和3年度】女性1名（1年6ヶ月） 【令和4年度】男性1名（3ヶ月）

【令和5年度】男性2名（ともに3ヶ月） 【令和6年度】男性1名（4ヶ月）

よくある質問 FAQ

Q

入局後のスケジュールについて教えてください。

A

年度当初（4月始め）から約3週間程度、総務省本省（霞が関）及び情報通信政策研究所（総務省職員研修施設：東京・国分寺市）において、国家公務員として必要な知識やビジネスマナー、ICT（情報通信技術）、無線通信技術の基礎などを学ぶ研修を受けていただきます。

その後、当局に戻った後は配属先の課室にて先輩による指導、アドバイスを受けながら業務を行うこととなります。

Q

入局後のキャリアアップはどのようなになっていますか？

A

入局後は、係員としてスタートし、局内の様々な業務を経験しながら主任、電気通信専門官（電波監視官・電波検査官・企画監理官等）、係長（チーフ専門官）、課長補佐（上席専門官等）へと昇任していきます。

係長級に昇任後は、担当業務に精通した中堅職員として、係内の業務の取りまとめや係員個々の業務目標達成のサポートなど、係の中心となって活躍していただきます。

課長補佐級に昇任後は、将来のキャリアアップ（課長昇任）を念頭に、これまで培った知識と経験を活かし、後輩職員の指導・育成を行うとともに、課・室全体の業務と施策を実行する推進役として活躍していただきます。